

姫路城に抱かれた歴史公園を歩く

日本の歴史公園100選

姫路公園

姫路公園内の各公園のご案内



桜門橋 (さくらもんばし)

江戸時代、大手門には内濠を渡るために木橋が架けられていました。現在の桜門橋は発掘調査で出土した橋台の遺構を活かしながら、江戸時代の木橋をイメージして築いたものです。幅7m、長さ22mあり、平成19年2月に完成しました。現在は姫路の観光名所となっています。



千姫の小径 (せんひめのこみち)

西部中濠と船場川との間に南北にのびた土の道です。道にはもみじや桜が植えられ、左右の水と共に心を和ませてくれる散策路となっています。



南部土塁

中濠を埋めてつくられた国道2号線沿いにあります。土塁沿いの散策路は緑の豊かな潤いある歩行者空間を創出しています。



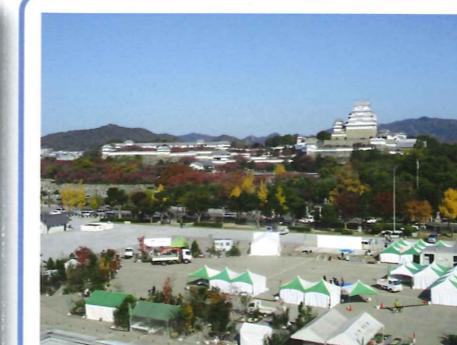
武者溜り (むしゃだまり)

登城する武者が控えていたとされる場所で、広場の面積は約0.5haあり、桜門橋の前に広がる空間はゆとりのあるものとなっています。



家老屋敷跡公園

酒井家時代(1750年代)の筆頭家老高須隼人が屋敷を構えていた所です。姫路城下町の主要道路であった南北街路を園路として整備し、屋敷割りの表示など江戸時代の城郭をイメージしています。



大手前公園

姫路城の玄関口として中心市街地活性化のためのイベントが多数行われています。市民はもとより国内外からの来姫者が憩い、交流する場として利用されています。



東御屋敷跡公園

藩主の屋敷があった場所です。広場の周囲には桜の木が植えられ、春になると満開の桜が見る人の心を魅了してくれます。



東部・西部・北部中濠

姫路城の濠は本丸のある姫山の北東のふもとを起点に左回りの大きな螺旋を描いて、内濠、中濠、外濠と3重になっています。濠の水は船場川から取水しており、約5日間で濠を循環し船場川へと戻ります。



姫路城周辺施設



日本城郭研究センター
「城郭研究室」と「城内図書館」からなる複合施設です。



兵庫県立歴史博物館
兵庫の歴史や姫路城のほかに、兵庫の祭りや子ども文化について学べます。



姫路市立美術館
明治時代の建物を利用した赤レンガが美しい美術館です。



姫路市立動物園
姫路城三の丸広場の東側に隣接した、お城の見える動物園です。



姫路城西御屋敷跡庭園 好古園
姫路城を借景にした本格的な日本庭園で、9つの庭園群で構成されています。



家老屋敷跡 (便益施設)
「い・ろ・は・にの屋敷」には土産物店や軽飲食店などがあります。